



たてやま議会だより



●平成26年5月号 ●No.105 ●発行／館山市議会 ●〒294-8601 館山市北条1145-1 ●電話0470-22-3527
議会メールアドレス gikai.j@city.tateyama.chiba.jp



富津市との交流会におけるうみほたる視察の様子

平成26年3月定例市議会

**平成26年度予算・「館山港湾
振興ビジョン」に基づく事業の早
期実現を求める意見書などを議決**

3月定例市議会は、2月27日から3月24日までの会期26日間にわたって開かれ、市長提案の23議案と議会提出の1議案が原案どおり可決されました。

会議初日（2月27日）は、会期を26日間と決定した後、市長から新年度の施政方針演説及び各議案について提案理由の説明が行われました。

3月4日及び5日は、10人の議員が一般質問を行い、市政の諸問題について市当局の考えをいただきました。

3月10日は、新年度予算を除く各議案について質疑を行い、所管の常任委員会に審査を付託しました。

3月12日は、新年度予算に対する質疑を行った後、予算審査特別委員会を設置して審査を付託しました。

最終日（3月24日）は、各

委員会の委員長が、委員会での審査の経過及び結果を報告した後、質疑、討論、採決を行いました。

続いて、追加議案1件の審議及び委員会提出の1件の議案の審議を行い、閉会しました。

主な内容

- ★議案の概要と委員会審査 2～5頁
- ★一般質問 6～11頁
- ★議決結果 12頁

議案の概要と委員会審査

3月定例会に提案された
議案と委員会の主な審査
内容を紹介します。

議案第1号、議案第5号
平成26年度館山市一般会計予
算及び4特別会計予算Ⅱ左表

平成26年度一般会計・特別会計予算		
会 計 名	本年度予算	増減率
一 般 会 計	178億5600万0千円	7.7%
特別会計	国民健康保険	70億7065万0千円
	後期高齢者医療	6億2278万4千円
	介護保険	51億8700万8千円
	下水道事業	8億3338万7千円
合 計	315億6982万9千円	5.4%

予算審査特別委員会の審査 (委員長 福岡信治議員)

平成26年度一般会計及び4
特別会計予算の審査に当た
り、9人の委員で構成する予
算審査特別委員会を設置し、
慎重に審査を行いました。

委員は次のとおりです。

(○委員長、○副委員長)

◎福岡 信治 ○瀬能 孝夫
森 正一 石井 敬之
太田 浩 石井 信重
本多 成年 榎本 祐三
鈴木 順子



予算審査特別委員会の様子

一般会計歳出において、職
員育成事業に関して、研修の
主な内容について聞いたとこ
ろ、職員の基本的な共通認識
を得るための研修や各職場に
おける専門知識の習得を図る
研修がある、との説明があり
ました。

クレジット収納導入事業に
関して、374万2千円の積
算の根拠について聞いたとこ
ろ、導入のための初期投資で

ある、との説明がありました。

また、今後のランニングコ
ストについて聞いたところ、
一般会計では67万6千円であ
る、との説明がありました。

民生委員事業に関して、平
成25年度と比較して業務委託
料が減少している理由につい
て聞いたところ、平成25年度
予算では、千葉県において開
催される全国民生委員・児童
委員大会の負担金と、委員の
一斉改選に伴う費用を計上し
ていたが、平成26年度予算で
は、これらの経費がなくなっ
たことが主な理由である、と
の説明がありました。

高齢者福祉団体補助事業に
関して、館山市シルバー人材
センターに登録されている人
数とその状況について聞いた
ところ、昨年10月31日現在で
162名であり、最近はほぼ
この人数で推移している、と
の説明がありました。

衛生センター定期点検補修
事業に関して、平成25年度よ
り1200万円の減となってい
る理由について聞いたところ
、毎年度優先順位をつけて
改修を行っているものであ
り、年度によって改修箇所が
違うことによるものである、

との説明がありました。

健康づくり推進事業に関し
て、保健推進員の活動につい
て聞いたところ、地区ごとに
グループを作って活発に活動
を行っているとの説明があ
りました。

また委嘱について聞いたと
ころ、町内会長等関係者の御
尽力により委嘱している、と
の説明がありました。

緊急雇用促進助成金に関し
て、平成25年度の申請の状況
について聞いたところ、7件
の申請があつた、との説明が
ありました。

また、この制度の周知は図
られているのかと聞いたとこ
ろ、広報はもとより館山商工
会議所を通じて周知徹底を
図っている、との説明があ
りました。

松くい虫防除委託料に関し
て、伐倒しても被害はおさま
らないのかと聞いたところ、
被害を減少させるため、重要
な松については薬剤注入とい
う方法を考えている、との説
明がありました。

廃プラスチック処理対策推
進事業補助金に関して、運搬
経費分の市負担割合が40パー
セントから50パーセントに

なった理由について聞いたと
ころ、運送費の負担が増えた
ため負担割合を変更した、と
の説明がありました。

マスコットキャラクタープ
ロモーション事業に関して、
ダッペエの知名度について聞
いたところ、安房管内での知
名度はだいぶ上がっていると
認識しており、県外へも平成
25年度は142回出動してい
る、との説明がありました。

公衆トイレ改修事業に関し
て、改修は夏のシーズンに間
に合うように工事を進めるの
かと聞いたところ、平成26年
度になったらすぐに準備を始
めたい、との説明がありました。

橋梁整備事業に関して、館
山大橋橋梁補修工事につい
て、歩道の設置又は橋梁の
拡幅があるのかと聞いたとこ
ろ、平成27年度に予定してい
る工事で、欄干を川側に出す
など、路肩を現在よりも35セ
ンチ拡幅し、そこに、カラー
舗装を行うことで、歩行者な
どの通行の安全が確保され
る、との説明がありました。

消防団事業に関して、消防
団被服等購入費について、被
服購入数が355名に対し、被
服購入数が320着と若干少

なくなっている理由を聞いたところ、320着分は現団員の更新分であり、新入団員分40名を含めて予算計上してある、との説明がありました。

学校給食センター施設整備事業に関して、食物アレルギーの児童・生徒に対する専門の部屋を設置している団体があると聞いているが、本市ではこのような部屋を設置する予定はないのかと聞いたところ、現段階では考えていない、との説明がありました。

国民健康保険特別会計において、国民健康保険被保険者の対象人数について聞いたところ、平成26年2月末現在で、被保険者数合計1万7309人、そのうち65歳以上の方が6585人で、その内訳は、65歳から69歳までが3522人、70歳以上が3063人となっている、との説明がありました。

下水道事業特別会計において、事業の継続について一度見直す必要があるのではないかと聞いたところ、現在は、合併浄化槽が普及するなど、下水道事業を開始した当初には想定できなかった新しい状況が生じている。

そのような状況の変化や、コストの面などを考慮し、また下水道審議会や地域の方の意見を聞きながら、今後の見通しについて検討していきたい、との説明がありました。

議案第6号 平成25年度館山市一般会計補正予算(第5号)の専決処分の承認について

Ⅱ館山市下水道事業特別会計における下水道使用料の還付金及び還付加算金の増加に係る財源を一般会計より繰り出すための補正予算を、地方自治法の規定により専決処分したので、議会に報告し、その承認を求めようとするもの。

議案第7号 平成25年度館山市下水道事業特別会計補正予算(第3号)の専決処分の承認について

Ⅱ下水道使用料の賦課誤りのため還付金及び還付加算金が増加し予算に不足を生じたため、地方自治法の規定により専決処分したので、議会に報告し、その承認を求めようとするもの。

議案第8号 館山市議会議員及び館山市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する

条例の一部を改正する条例の制定についてⅡ公職選挙法の規定により、公費負担をすることができるとされている市長選挙における選挙運動用ビラの作成の費用につき、公費負担を定めようとするもの。

総務委員会の審査

(委員長 龍崎 滋議員)

平成19年度から公費負担ができることになったが、館山市がこの時期に条例を改正する理由は何かと聞いたところ、平成22年度の当初予算積算時に市長選挙に向けて改正を検討したが、当時は職員給与の減額を行うなど財政的に厳しい状況であったので、改正を見送った、との説明がありました。

また、千葉県内で実施している団体はいくつあるかと聞いたところ、31市である、との説明がありました。

議案第9号 非常勤の特別職の職員に係る報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について

Ⅱ不法投棄等の取締り及び不当要求等の対応強化のため、非常勤の特別職として新たに設置する環境等対策参与の報酬額を定めようとするもの。

置する環境等対策参与の報酬額を定めようとするもの。

総務委員会の審査

家庭相談員と母子自立支援員の人数について聞いたところ、家庭相談員2名、母子自立支援員1名である、との説明がありました。

家庭相談員と母子自立支援員を非常勤の一般職にするがその理由は何か及び一般職と特別職の違いは何かについて聞いたところ、児童福祉法や児童虐待防止法の改正により、体制強化が求められており、勤務実態が一般職と同様になっているためであり、職の違いは、特別職には地方公務員法が適用されない、との説明がありました。

環境等対策参与には特別な資格を有する者を委嘱するのかと聞いたところ、警察署の生活安全部門の経験者を委嘱する予定であり、特別な資格を有する者ではない、との説明がありました。

議案第10号 館山市行政財産使用料条例の一部を改正する条例の制定について

Ⅱ平成26年4月1日から消費税率が変更されることに伴う所要の

改正をしようとするもの。

総務委員会の審査

渚の駅の商業施設棟の事業者は、行政財産使用料を支払うのか、その他の対象は何かと聞いたところ、当該事業者は条例の対象であり、ほかには市庁舎の一部を借用している三芳水道企業団及び安房郡市広域市町村圏事務組合、ATMを設置している千葉銀行、館山信用金庫、物品販売のNPO法人などがある、との説明がありました。

議案第11号 館山市社会教育委員に関する条例の一部を改正する条例の制定について

Ⅱ第3次一括法が公布されたことに伴い社会教育法の一部改正が行われたことから、これまで法律で定められていた社会教育委員の委嘱の基準について、文部科学省令で定める基準を参酌して、条例で定めようとするもの。

文教民生委員会の審査

(委員長 本多成年議員)

改正案には、委員の報酬に関する規定が入っていないが問題ないか聞いたところ、報酬については「非常勤の特別職の職員に係る報酬及び費用

弁償に関する条例」で規定しているため問題はない、との説明がありました。

議案第12号 館山市子ども医療費支給条例の一部を改正する条例の制定について 通院及び調剤に係る医療費の支給対象は、現行では小学校3年生の児童までとなっているが、これを小学校6年生の児童まで拡大しようとするもの。

文教民生委員会の審査
助成対象を中学三年生まで拡大した場合の見込み額を聞いたところ、中学一年生から三年生までの通院のみで1300万円程度と想定している、との説明がありました。
また、早いうちに、中学三年生まで拡大するようお願いしたいとの委員からの要望に対し、今回の拡大実施による状況、及び財政状況全体を見て、検討していきたいと考えている、との説明がありました。

議案第13号 館山市ひとり親家庭等医療費等の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について 引用する法律名の変更に伴う条文の整

理を行おうとするもの。

文教民生委員会の審査
今回の国の法律改正により、DV被害者の適用対象がどのように拡大されるのか聞いたところ、生活の本拠をとにもする交際をする関係にある相手からの、暴力の被害者を救済するための法律改正である、との説明がありました。

議案第14号 館山市市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について 市営住宅の一部について用途を廃止しようとするもの。

建設経済委員会の審査
(委員長 石井敬之議員)
市営住宅の新築、改築の予定はあるのかと聞いたところ、平成15年に作成された館山市公営住宅ストック総合活用計画の管理目標は、250戸となっており、この計画は、平成27年度までであることから、平成28年度以降の次期計画を策定する中で、建て替え等を検討していきたい、との説明がありました。
また、入居希望者が多いことから、市営住宅に関する行政の役割は終わっていないと

考えてよいのかと聞いたところ、ニーズはあるが、民業圧迫になったりしてはいけなし、市営住宅の意味合いが違ってきたりしているもので、全体のバランスを見て考えていく必要がある、との説明がありました。

委員からは、まだまだ入居希望者がいる中で、行政としての役割は終わっていないと思うので、大きな問題として根本的に考えていく必要がある、との発言がありました。

議案第15号 館山市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について 都市公園使用料について、千葉県使用料及び手数料条例に準じて改正するとともに、茶室使用料について1時間単位とする変更を行おうとするもの。

建設経済委員会の審査
公園、茶室を使用するにあたっての制約があるのかと聞いたところ、公序良俗に反するものの、管理上支障があるもの等については許可しない、との説明がありました。
また、茶室の使用料を改正して利用しやすくするとのことだが、どのように周知する

のかと聞いたところ、市のホームページや広報で啓発していきたい、との説明がありました。

議案第16号 館山市下水道条例の一部を改正する条例の制定について 消費税率の引上げに伴う下水道使用料の改定及び地方税法の改正に準じて延滞金の利率の見直しを行おうとするもの。

建設経済委員会の審査
延滞金の件数及び金額について聞いたところ、今のところ請求した件数はない、との説明がありました。
また、延滞金の変更に内容について聞いたところ、国税の見直しに合わせて、地方税に係る延滞金や還付加算金の利率を下げるものである、との説明がありました。

議案第17号 館山市都市計画下水道事業受益者負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について 地方税法の改正に準じて受益者負担金の延滞金及び還付加算金の利率の見直しを行おうとするもの。

議案第18号 平成25年度館山市一般会計補正予算(第6号) Ⅱ歳入歳出それぞれ857万1千円を増額し、総額177億5136万7千円としようとするもの。
主要事項として、福祉基金積立金、過年度障害者自立支援給付費等国庫負担金返還金、国民健康保険特別会計繰出金、過年度放課後子どもプラン補助金返還金、コミュニケーション医療推進基金積立金、博物館展示資料購入費、財政調整基金積立金、庁舎建設基金積立金、フレフレ・たてやま応援基金積立金、ため池等整備事業大正地区負担金、かがい排水事業安房中央地区負担金、道路新設改良事業、館山港整備事業、小学校耐震診断・改修事業、幼稚園耐震改修事業、児童手当費、児童福祉法第51条による運営委託料、公立保育園の非常勤職員賃金、母子健康診査事業、がん検診委託料、予防接種委託料、安房郡市広域市町村圏事務組合火葬場運営費負担金、安房郡市広域市町村圏事務組合ごみ処理広域化推進費負担金、ごみ再資源化事業委託料、ごみ収集事業委託料、介護資

格取得促進事業、道路新設改良事業、下水道事業特別会計繰出金、安房郡市広域市町村圏事務組合常備消防費負担金など。

総務委員会の審査

繰越明許費のうち、小学校営繕事業の館山・豊房小学校遊具交換工事が遅れた理由について聞いたところ、消費税率の引き上げによる駆け込み需要のため受注生産が追いつかなかつたことによるものである、との説明がありました。

ごみ再資源化事業委託料の減額について聞いたところ、入札による執行残であり、入札環境の変化によるものと思われる、との説明がありました。

執行残がごみ再資源化事業委託料とごみ収集事業委託料で4600万円になるが、これについてどう考えるかと聞いたところ、これらの事業は安定的な実施が要求されるものであり、これ以上競争が激化することは好ましくないと思われる、との説明がありました。

中小企業融資補填金について聞いたところ、信用保証協会が代位弁済した金額の15パーセントを補填するもので

ある、との説明がありました。給食材料購入費の減額について聞いたところ、予算編成の段階では転出入の不確定要因があるので、80人ほど多めに計上しており、給食提供者数が確定したことに伴うものである、との説明がありました。

議案第19号 平成25年度館山市国民健康保険特別会計補正予算(第3号) Ⅱ歳入歳出それぞれ4076万7千円を増額し、総額7億9978万6千円としようとするもの。
主要事項として、一般被保険者療養給付費、国保保健指導事業委託料。

文教民生委員会の審査
生活習慣病予防事業を取りやめることについての詳細を聞いたところ、特定健診の受診率の向上を目指すためのアンケート調査の実施を、全額国庫補助を見込んで予算計上したが、途中で国の補助基準が変わり、全額補助ではなくなる可能性が出てきたため、いったん棚上げとし、別の方法での対策を検討しているところである、との説明がありました。

議案第20号 平成25年度館山市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号) Ⅱ歳入歳出それぞれ385万7千円を減額し、総額5億9301万7千円としようとするもの。
主要事項として、後期高齢者医療広域連合納付金。

文教民生委員会の審査
平成27年度に導入予定とされているクレジット収納について聞いたところ、納付方法の窓口を広げることで、徴収率の向上につなげようという考えのもとに導入を図るものである、との説明がありました。

また、導入経費について聞いたところ、総額で1038万円程度をみている、との説明がありました。
経費に対する費用対効果について十分検討したか聞いたところ、納税者へのサービスの一環であると考えており、経費以上に徴収率を上げる方向に持っていきたいと考えている、との説明がありました。

額50億9333万2千円としようとするもの。
主要事項として、介護保険システム保守委託料。

文教民生委員会の審査
職員給与費等繰入金の内訳について聞いたところ、消費税の改正に伴い、介護報酬等の改定があり、介護保険システムの改修が必要になったため、国からの二分の一の補助の残りの部分を繰り入れようとするものである、との説明がありました。

議案第22号 平成25年度館山市下水道事業特別会計補正予算(第4号) Ⅱ歳入歳出それぞれ2328万1千円を減額し、総額7億6811万4千円としようとするもの。
主要事項として、下水道管渠築造工事請負費等事業費、国の「社会資本整備総合交付金」、国の補正予算に伴う追加事業。

議案第23号 平成25年度館山市一般会計補正予算(第7号) Ⅱ歳入歳出それぞれ552万8千円を増額し、総

額177億5689万5千円としようとするもの。

主要事項として、中学校耐震診断事業、幼稚園耐震改修事業、財政調整基金積立金。

【議会提案議案】

発議案第1号 「館山港湾振興ビジョン」に基づく事業の早期実現を求める意見書についてⅡ館山市は、「館山港港湾振興ビジョン」に沿って、市民と来訪者にとつて魅力的な海辺のまちづくりを推進している。

中でも、千葉県により整備が進められている館山港多目的栈橋(館山夕日栈橋)は、こうした海辺のまちづくりの中核となる施設であり、地域振興、観光振興のかなめとして、このビジョンに沿った形での早急な整備が必要となる。

ついでには、「館山港港湾振興ビジョン」に基づく事業の早期実現により、観光・産業などの振興、活性化を図り、館山湾を活用した海辺のまちづくりを実現するため意見書を提出する。

【追加議案】

一般質問

一般質問通告要旨

市政に関する一般質問は、3月4日、5日の2日間にわたり、次の10名の議員が行いました。議員別の質問要旨、分野別の主な質問と答弁は次のとおりです。(太字の質問は次ページ以降に掲載しています。)

	内 藤 欽 次 ①ペットボトル処理業務委託(洗浄の指示の有無、再資源化事業に対する基本姿勢) ②教育委員会の改革(教育委員会の廃止 、教育委員長と教育長の兼務、戦後の民主主義教育の破壊) ③特定廃棄物(放射性物質)の受け入れ(館山市が候補地になる可能性 、その場合の対応)
	石 井 信 重 ①安心して暮らせるまちづくり(高齢者見守りネット 、高齢者虐待防止マニュアル) ②館山湾の整備、活用(那古船形海岸の保全 、館山湾全体の海岸をはじめとする利活用) ③シンポジウムの取り組みと市政への反映
	榎 本 祐 三 ①館山市のふるさと大使(ふるさと大使の選抜方法、 ふるさと大使の辞退 、市民に対する説明責任) ②ペットボトル処理問題(行方不明ペットボトルの原因と対応 、収集月報の記載不備とその対応、ペットボトル洗浄を業者に行わせる法的根拠)
	森 正 一 ①ごみステーションの管理 ②小学校、幼稚園施設の耐震化 ③ 小中学校における児童・生徒の問題行動 ④小中学校における児童・生徒の不登校問題 ⑤インフルエンザ予防接種費用の助成 ⑥津波対策(道路幅員の拡張、津波避難タワーの導入) ⑦スポーツ観光・スポーツ振興・施設整備(スポーツコミッションの検討状況 、東京オリンピック事前キャンプの誘致、出野尾サッカー場等整備)
	本 多 成 年 ①安心・安全なまちづくり(犯罪の抑止力としての防犯カメラの設置 、「安心・安全なまちづくりシンポジウム」における4つの提言への対策) ②館山港湾の今後の整備(海岸保全施設の変更、 館山湾整備調査等特別委員会から提出された質問書に対する千葉県 の回答についての市の見解)
	龍 崎 滋 ①発達障害者支援(市の発達障害者への支援方法 、支援の有効性を高めるための専門機関や専門員の設置) ②消防団の処遇改善(「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」に沿った改善、団員の不足傾向の対応) ③児童生徒の読書習慣と図書館の利用の推進(図書館の利用状況、 読書習慣を身につけるための「読書通帳」の取り入れ)
	石 井 敏 宏 ①重税感のある国民健康保険税(一般会計からの繰り入れルールの変更 、国民健康保険税の増税) ②外部事業仕分け ③中学校2年生自殺問題 ④文化遺産(稲村城跡の駐車場とトイレの設置 、掩体壕の保存) ⑤補助金の交付時期
	鈴 木 順 子 ①平成26年度組織編成(改編の経緯、 市民のための改編か) ②渚の駅たてやま整備(商業施設棟開設によるトイレ数は足りるか、旧館山栈橋をどうしていくか) ③認知(症)予防(市の取り組み状況 、今後の進め方)
	瀬 能 孝 夫 ①地域包括ケアシステムの取り組み(介護施設の整備計画、転院情報支援システムの活用、居宅療養管理指導、 介護従事者増員へ向けての施策) ②国保事業における医療費削減への取り組み(データヘルスの導入と活用、 訪問指導の現状とこれから 、ジェネリック医薬品の使用促進)
	秋 山 貴 ①地域観光の戦略とまちづくり(地域資源を生かした旅行商品や着地型観光 、インバウンド増加のための施策) ②異常気象への対応策(異常気象から市民を守る対策、 損害を被った農水産業事業者への補償等の対応) ③スポーツ振興と地域活性化(若潮マラソンの経済効果と収支決算、スポーツ観光の現状と今後の具体的施策) ④都市計画道路廃止にかかわる道路ネットワークの協議(なぜネットワークの協議が必要か、いつまでに協議結果を出すのか)

※紙面の都合上、通告質問の要旨を掲載しています。詳細については、5月中旬ごろ図書館に配置予定の会議録、または館山市ホームページの会議録検索システムでご覧ください。

主な質問と答弁

産業振興・観光振興

◆那古船形海岸の保全は？

問 千葉県の説明では、堆積している砂の移動等の対応は予定していないとあつたが、環境保全のためにも移動を要望すべきではないか。

(石井信重議員)

答 海岸管理者である千葉県が行っている那古突堤工事は、3か年事業のうち2か年分が完了し、平成26年度に突堤が完成する予定であると千葉県から伺っています。

千葉県では完成後に整備効果を検証するとしていますので、館山市としては、事業効果を届け、海岸の状況によつては必要な対応を検討していきます。

また、この工事とは別に、北条海岸で局部的海岸浸食が毎年発生しているため、千葉県では、船形方面に堆積している砂を使用して養浜工事を実施しており、突堤の事業効果である沿岸の砂の移動の抑制と相まって、船形方面の海岸の改善につながるものと期

待しています。

◆スポーツコミッションは？

問 近隣市町村との連携を含め、検討状況はどうなっているか問う。(森 正一議員)

答 現在、各種スポーツ大会の開催や宿泊の受け入れ調整等について、館山市を中心に、観光協会や競技団体、交通事業者等と連携し、スムーズな対応が図られていると考えています。

平成26年度、館山市の組織体制においては、スポーツ観光の業務をスポーツ課とプロモーションみなと課の事務分掌に位置づけ、オリンピック・パラリンピック事前合宿をはじめとするスポーツ合宿や観光客の誘致に向けた取り組みを積極的に行っています。

また、スポーツコミッション組織の形態や役割について研究するとともに、他の自治体の動向を見極めていきたいと考えています。

◆館山湾整備調査等特別委員会の質問に対する回答は？

問 館山湾整備調査等特別委員会から提出した質問書に対する千葉県の回答についての館山市の見解を問う。

(本多成年議員)

答 館山港港湾振興ビジョンに示される規模への館山夕日栈橋の拡張については、千葉県は利用状況及び社会経済状況を踏まえ、総合的に検討するとしていますので、館山市としては、組織の見直しを図り、館山市全体の観光PR活動を強化することにより、観光客の誘致と並行し、館山夕日栈橋の稼働率の向上を図っていきます。

ビーチ利用促進モデル事業2期工事の早期着手については、千葉県は海岸保全施設の高さを見直した東京湾沿岸海岸保全基本計画の変更を踏まえ、今後の整備については、住民の生命、財産を守ることが最優先にして検討していくとしています。館山市としては、ビーチ利用促進モデル事業は、地域の経済振興に寄与する館山湾を活かしたまちづくりを推進する上で、必要不可欠な事業であると考えます。

そのため、ビーチ利用促進

モデル事業2期工事は、高潮対策とともに、従来どおり地域振興にも結びつく側面を持った事業として、実施していただけるよう、今後も千葉県に要望していきます。

那古船形海岸の保全については、千葉県は平成26年度までの3か年事業で整備を進めている那古突堤工事の完成後に整備効果を検証するとしていますので、館山市としては、事業効果を見届け、海岸の状況によつては必要な対応を検討していきます。



館山夕日栈橋の夜景

◆館山市の文化遺産は？

問 稲村城跡の見学者のために駐車場とトイレを作るのについて問う。

(石井敏宏議員)

答 史跡の保存管理を適切に行い、さらに活用を図ることを目的として、平成24年度、平成25年度の2か年事業により、国史跡「里見氏城跡稲村城跡」保存管理計画を策定しています。

整備の具体的な規模や方法などを示す保存整備計画については、今後策定する予定ですので、駐車場などの整備についても、その中で検討を行っていきと考えています。



稲村城跡概念図

◆地域観光の戦略とまちづくりは？

問 地域資源を生かした旅行商品や体験コースを企画して提案する着地型観光の具体的な事例と施策を問う。

(秋山 貴議員)

答 地域が主体となって観光客を迎える着地型観光は、豊かな地域資源を有する館山市にとって非常に重要な取り組みであると認識しています。

具体的には、城山公園や赤山地下壕跡、沖ノ島など、市内の観光資源を結ぶサイクリング・ウォーキングコースを設定し、トイレや案内看板の設置や観光マップの作成など、観光客の受け入れ体制の充実を図ってきました。

さらに、館山市観光協会と連携しながら、地産地消型のご当地グルメ「館山炙り海鮮丼」などを開発し、食のまちづくりを推進しています。

館山市としても、観光客が自由に、楽しく市内を周遊できるメニューの充実を図りながら、滞在時間の延長につなげていくために、関係する民間団体等との連携をさらに深め、地域資源を有効活用した着地型観光の推進を図り、観光立市の実現に努めていきます。

質の受け入れについて

問 館山市が放射性物質の受け入れ先の候補地になる可能性はあるか。

答 館山市が候補地になる可能性については、それはわかりません。

候補地となった場合にも、市長の日本一安全・安心なまちにしたいという、まちづくりの理念に反することには、断固反対します。

◆ペットボトル処理問題は？

問 平成20年度から平成23年度の4年間で、約220トンの行方不明ペットボトルがあると指摘されていたが、原因は何であったのか。また、その後どのように対応されたのか問う。**(榎本祐三議員)**

答 本件については、住民訴訟として提訴され、千葉地方裁判所で係争中です。

ご質問の内容についても、訴訟代理人を通じて、原告側に対し、認否・反論しています。

つきましては、正確を期すため、この場での回答は、控えさせていただきます。

交通安全・防災対策

◆安全・安心なまちづくりは？

問 犯罪の抑止力として館山市では、公共の場での防犯カメラの設置についてはどのように考えているか。

また、他市の現状と館山市での設置の状況はどうなっているか問う。**(本多成年議員)**

答 公共施設における防犯カメラの設置については、防犯カメラの設置による犯罪の抑止力については、設置されている市において犯罪認知件数の減少など、その効果が認められていることから、犯罪抑制への有効性については認識しています。

次に、近隣市町における公共施設への防犯カメラの設置状況についてですが、南房総市で2基、鴨川市で2基、鋸南町で2基が設置されていると伺っています。

また、館山市では、JR館山駅自由通路等に6基、渚の駅に20基、館山第二中学校に1基、合計27基を設置しています。

◆異常気象への対応策は？

問 異常気象により、損害を被った農水産業事業者への補償等を含めた対応策について問う。**(秋山 貴議員)**

答 自然災害等により被害を被ったときに、その損失を補てんする制度として、農業共済組合や漁業共済組合が運営する共済制度があります。

また、災害により被害を受けた場合などに経営の維持・安定に必要な運転資金や農林漁業施設等の復旧に必要な設備資金などを低利で融資する制度もあります。

今回の大雪による被災農業者等への支援対策として、国としては災害関連資金の無利子化、農業用ハウス等の再建・修繕への助成、被害果樹の植え替えに必要な経費の助成などの支援策を実施することとしています。

特に、施設園芸が盛んな館山市としては、これらの制度を生産者や生産者団体に広く情報提供し、農業生産施設等の早期の復旧を促進します。

教育問題・いじめ対策

◆教育委員会の改革は？

問 教育委員会の廃止についてどう考えるか問う。

答 教育委員会は合議制の執行機関であり、教育委員会制度の意義としては「政治的中立性の確保」、「継続性・安定性の確保」、「地域住民の意向の反映」があります。

教育委員会は、複数の委員による合議により中立的な意思決定を行っており、住民の意向を反映し、独立した機関としての機能は十分果たされていると認識しています。

◆小中学校児童・生徒の問題行動は？

問 市内小中学校児童・生徒の問題傾向が、スマートフォン等の普及により変化しているか問う。**(森 正一議員)**

答 平成24年度の問題行動関係の調査では、平成23年度と比べ、暴力行為は大幅に減少しています。

一方、いじめの認知件数については増加しています。これは、いじめの定義に対する、教員と児童・生徒の意識の変化が大きな理由であると考えられています。

また、スマートフォン等を

ごみ問題・環境対策

◆特定指定廃棄物（放射性物

利用したソーシャルネットワークワーキングサービス上のトラブルによる問題が生徒指導上の課題として取り上げられるようになってきたことは認識しています。

この問題については、学校や保護者の知らないところで起こっていることが多いため、把握することが困難であるという現状があります。

その対策として、教員や保護者を対象とした研修等を行っていますが、今後は、さらに対策を充実させていくことが課題と考えています。

◆発達障害者支援は？

問 市の発達障害者への支援はどのように行われているか問う。

(龍崎 滋議員)

答 発達障害のある子どもは、ある分野では優れた能力を発揮する場合もあります。が、一般に他人との関係づくりやコミュニケーションを苦手としているため、この障害に対する周りの人々の理解がなかったり、適切なサポートがなされないと、ストレスから不登校や引きこもり等の二次的な障害を引き起こしてしまう場合もあります。

館山市では、就学前においては乳幼児健診等により発達障害の早期発見に努めるとともに、「たつの子幼児教室」や「簡易マザーズホーム」で発達支援、相談支援を行い、保護者の希望がある場合は、社会福祉法人安房広域福祉会等が実施している「児童発達支援事業」につないでいます。

が、平成26年度から乳幼児健診の事後のフォローとして、低身長や発達の遅れ、また、アレルギーに関する悩みを医師に直接相談できる場として母子の専門相談事業を実施する予定でいます。

また、就学期間中、保護者の希望がある場合は、安房広域福祉会等の「放課後等デイサービス事業」が利用できるほか、就学後においても、就労支援をはじめとした「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」に基づく福祉サービスの提供等を行い、発達障害者が自立した日常生活・社会生活を営むことができるよう支援しています。

◆児童・生徒の読書習慣と図書館の利用の推進は？

問 子供たちが読書習慣を身につけるため、「読書通帳」を取り入れることについて問う。

(龍崎 滋議員)

答 図書館では現在、子供と本を結びつけるため、各種児童サービスをを行っています。0歳の幼児には、ブックスタートとして絵本をプレゼントし、乳幼児には、わらべうたの会を開催、そして園児・児童には、おはなし会や移動図書館車の巡回により図書を貸し出しています。

また、園や学校との連携により図書の団体貸し出しを行っているほか、要請を受けて図書館職員が学校を訪問して、読み聞かせ、テーマに沿って本を紹介するブックトークなどを行っています。

さらに、図書館の利用を促進するため、就学時に図書利用券を配布しています。

ご提案いただいた「読書通帳」は、読書の動機づけに加え、読書の記録が自己管理できるため、児童・生徒だけでなく一般の利用者にとっても利便性の向上につながるものと思われまますので、費用や実施方法を考慮しながら検討したいと考えています。

健康福祉・介護予防

◆高齢者見守りネットは？

問 見守りネットについて、通報件数の現状や、館山警察署や金融機関との連携によりどのような効果があつたか問う。

(石井信重議員)

答 ネットワークの立ち上げ以降、館山市への通報件数は、本年2月25日現在で65件となっています。

また、昨年4月に、館山警察署と管内の3つの市町で「高齢者の安全・安心対策活動に関する覚書」を締結して以来、館山警察署からの通報は15件ありました。

「夜間などに徘徊しているところを保護した」、「認知症が疑われる高齢者の事例があるが、支援をお願いしたい」などの情報をいただいています。

見守りの目を増やすため、ネットワークの拡充を図っていますが、平成25年度は、市内の金融機関と「高齢者見守り事業協力に関する協定」を締結することができました。手口が年々巧妙になっている振り込め詐欺や還付金詐欺、投資を名目とした詐欺

が増加する中、その振り込みの手続きを行う窓口となること、また、通帳や届け出の印鑑の紛失などの手続きを不自然に繰り返して行うというような、認知症の兆候を発見できる場所であることから、なにか支援が必要ではないかと、窓口で気づいた場合に連絡がいただけるよう協力をお願いしました。

◆一般会計からの繰り入れルールの変更は？

問 約25年前に議員提案で始まった館山市独自の一般会計からの繰入ルールを今年、突然変更し、50パーセントカット、金額にして約4千万円の削減をした理由を問う。

(石井敏宏議員)

答 館山市独自の一般会計からの繰入金額を約4500万円にした理由についてですが、医療費は引き続き伸びているものの、国民健康保険税の徴収状況や国民健康保険財政調整基金残高の現況から、平成26年度予算については、館山市独自のルール分である国民健康保険特別会計への繰入割合を50パーセントとしたところです。

なお、現段階では、平成26年度の国民健康保険税率については、引き上げない見込みを立てています。

◆認知症予防は？

問 市が行っている認知症予防の取り組み内容・効果について問う。(鈴木順子議員)

答 館山市では、高齢者ができる限り住み慣れた地域において、自立した生活を送ることができるよう、元気なうちから健康・運動教室に参加していただき、地域での仲間づくりや、生きがいづくりをしていただきたいという思いから、介護予防事業を実施しています。

実施内容についても、ストレッチ体操などの運動を中心としたものから、手先を使った季節の小物の作成や、参加者で練習したハンドベルの芸能祭での発表など、工夫を凝らすようにしています。

また、かな拾いテストや漢字識別テスト、読み、書き、計算による脳トレーニングの実施など、認知症予防に関するメニューも実施し、本人はもとより、参加した仲間でも互いに刺激しあいながら認知

症を予防できるよう努めており、参加者の身体機能も、大きく低下することなく現状維持がされているなど、「介護予防は元気なうちから参加する」といった、意識面でも効果が表れてきていると考えています。

国では、平成17年度から、認知症サポーターキャラバン事業による認知症サポーター養成講座を全国で実施しているところですが、

講座の内容は、認知症の正しい認識、早期診断・治療の重要性、認知症の人に接する際の心構え等であり、現在までに、館山市で2095人の認知症サポーターを養成しています。

また、介護予防に関する事業として、湊地区の老人福祉センターを会場にリフレッシー教室を実施しています。が、この中でも認知症予防のメニューを取り入れています。

今後、認知症の予防対策として、現在実施している事業を継続し、市民の皆様全員が認知症サポーターになっていただけるよう取り組みを進めていきます。

◆介護従事者増員の取り組みは？

問 介護従事者増員へ向けての施策を問う。

(瀬能孝夫議員)

答 介護人材を確保するためには、介護報酬改定を通じて処遇改善や、キャリアパス制度の確立や支援、職場環境の整備や改善など、国・県・市が役割分担しつつ、それぞれが積極的に関与することが重要であるとされています。

館山市としては、介護予防サービスの一部が、地域支援事業に移行された場合には、生活支援サービスの担い手となる、ボランティアやNPOなどの発掘や養成が必要となつてきますので、福祉関係団体と連携しながら、これに取り組みしていきたいと考えています。

◆国保事業における医療費削減の取り組みは？

問 生活習慣病予防を柱とする訪問指導の現状とこれらについて問う。

(瀬能孝夫議員)

答 現在、特定健診のデータや医療機関から提出されるレセプトなどの診療情報か

ら、生活習慣病の恐れのある方、同一の疾病で複数の医療機関に受診している方及び、一つの診療科への受診回数が多い方などを抽出し、保健師による訪問指導を行っております。また、病気の重症化予防や健康管理、また、医療機関への適正な受診方法などのアドバイスを行い、医療費の抑制に努めているところです。

また、疾患や加齢などにより、身体を動かすのに必要な器官に障害が起こり、自分で移動する能力が低下して要介護になる危険度が高い諸症状であるロコモティブシンドローム、いわゆるロコモの予防も重要となつてきており、館山市においても、平成24年度、ロコモなどの運動機能低下の予防を目的として「沖ノ島唄 たてやま元気体操」と称する体操を開発しました。現在、各地区での教室などで実施をしています。

DVDやポスターの作製も平成26年度に予定しており、将来、市民誰もができる体操にしていきたいと考えています。

今後、健康や医療の情報を共有し、医療関係者の人材確

保も含めた医療資源の充実を図りながら、人生の質を向上させるための総合的なまちづくりを目指すことを目的とした「コミュニティ医療」を積極的に推進していきます。

館山市のふるさと大使

問 館山市のふるさと大使(エンタメ大使)であった久保田武蔵氏が大使を辞退した理由、及び館山市はどのような対応をしたのか問う。

(榎本祐三議員)

答 久保田氏から、館山市に迷惑をかけたとの理由で、平成24年12月20日付の書面にて「館山ふるさと大使」辞退の申し出がありました。

これを受け、平成24年12月26日付で「館山ふるさと大使」の委嘱を解きました。

久保田氏は、児童向け学習雑誌の「体操のお兄さん」として小さい子ども達に人気があるほか、モデルなど様々なジャンルで活躍され、館山若潮マラソン大会など館山市の行事にもご協力いただいています。

館山市のイメージアップに

期待ができると判断し、「館山ふるさと大使」に委嘱しました。

また、久保田氏が行った体操教室などは非常に好評であり、「体操のお兄さん」としての活動やエンターテイメント性を評価していただけない、今回、このような事態となり、非常に残念に思います。

館山市の組織改編

問 平成26年度の組織改編について、市民のための改編になっているか問う。

(鈴木順子議員)

答 組織編成については、全て市民のためのものでなければならぬと考えているところです。

幼保窓口の一元化については、幼児に対する施策の窓口を一元化することにより、市民の利便性の向上につながるものと考えます。

また、プロモーションみなと課の新設についても、館山市を対外的に積極的にアピールしていくことは、館山市の観光の振興につながり、ひいては、館山市経済全体の活性化にもつながるものと考えています。

さらに、臨時給付金室については、臨時的な給付金の支給に際し、スムーズに支給を受けていただくために特設けるものであり、市民の皆様の利便に資するものであると考えます。

本市への視察訪問

●平成26年2月22日 東京 諸島議員研究会（三宅会）議員が交流拠点施設者の駅たてやま視察のため来館しました。

●平成26年4月11日 清見 潟親方が館山市福祉大相撲大会開催のあいさつのため来館しました。



議会を訪問する清見潟親方

表紙の写真について

館山市議会と富津市議会との交流会が平成26年2月5日に開催されました。

当日は東京湾アクアラインのトンネル内の床版下通路やトンネル内防災システム等について視察し、災害時の避難体制等について説明を受けました。

続いて富津市に新設された富津市消防防災センターを視察し、防災拠点としての機能や災害時の体制等について説明を受けました。

会議録の検索・閲覧

3月定例会及び委員会の会議録は、5月中旬にホームページから検索・閲覧ができます。

また、従来どおりの会議録も、図書館で閲覧ができます。

市議会を傍聴しませんか！

本会議の傍聴手続きは、希望する当日に議会事務局（市役所本館2階）前で備え付けの用紙に住所、氏名等を記載するだけです。（委員会の場合は事前に連絡をお願いします。）

また、本会議を開いている時は、インターネットで、本会議の生中継を配信していますので、ご利用ください。（館山市のホームページからご覧になれます。）

今年も、城山の桜が満開となりました。

編集後記

2月には館山城（八犬伝博物館）の補修工事も完了したことから、天守閣の白壁にソメイヨシノの薄紅色が映え、素晴らしい景色となりました。

今年度は渚の駅たてやまに新たに商業施設棟も建設されることから、訪れる観光客にとって、ますます魅力的なまちになると期待しております。

市長から、平成26年度予算が提出され、議会において慎重審査のうえ可決しました。新年度予算には子ども医療費支給対象の拡大や、地域密着型介護サービス施設の整備、消費税の増税に伴う臨時給付金の交付など、市民の生活に直結した様々な施策が盛り込まれております。

われわれ議会も、これらの施策が確実に実行され、大きな成果があげられるよう、市政についてチェックし、積極的に政策提言していきたいと思えます。

（龍崎 滋）

＊ ＊ ＊ 議会報編集委員会 ＊ ＊ ＊
（◎委員長 ○副委員長）

◎三澤 智 ○本多成年
石井敬之 龍崎 滋

議会や議会だよりに関することのご意見、ご質問等は議会事務局まで電話又はメール（番号及びアドレスは表紙参照）でご連絡ください。

次の定例会の予定

- 開 会 日
6月5日(木)午前10時～
- 一般質問
6月10日(火)、11日(水)
予備日:12日(木)
各日それぞれ午前10時～
- 請願・陳情提出締切:
5月30日(金)正午まで

平成26年3月定例会提出議案等議決結果

議案番号	件 名	議 決 結 果
議案第 1号	平成26年度館山市一般会計予算	原案可決 賛成多数
議案第 2号	平成26年度館山市国民健康保険特別会計予算	原案可決 賛成多数
議案第 3号	平成26年度館山市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決 全会一致
議案第 4号	平成26年度館山市介護保険特別会計予算	原案可決 全会一致
議案第 5号	平成26年度館山市下水道事業特別会計予算	原案可決 全会一致
議案第 6号	平成25年度館山市一般会計補正予算（第5号）の専決処分の承認について	原案可決 全会一致
議案第 7号	平成25年度館山市下水道事業特別会計補正予算（第3号）の専決処分の承認について	原案可決 全会一致
議案第 8号	館山市議会議員及び館山市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第 9号	非常勤の特別職の職員に係る報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第10号	館山市行政財産使用料条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第11号	館山市社会教育委員に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第12号	館山市子ども医療費支給条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第13号	館山市ひとり親家庭等医療費等の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第14号	館山市市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第15号	館山市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第16号	館山市下水道条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第17号	館山市都市計画下水道事業受益者負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第18号	平成25年度館山市一般会計補正予算（第6号）	原案可決 全会一致
議案第19号	平成25年度館山市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	原案可決 全会一致
議案第20号	平成25年度館山市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	原案可決 全会一致
議案第21号	平成25年度館山市介護保険特別会計補正予算（第3号）	原案可決 全会一致
議案第22号	平成25年度館山市下水道事業特別会計補正予算（第4号）	原案可決 全会一致
議案第23号	平成25年度館山市一般会計補正予算（第7号）	原案可決 全会一致
発議案第1号	「館山港港湾振興ビジョン」に基づく事業の早期実現を求める意見書について	原案可決 全会一致